

鉄鋼WG資料についての追加意見

小林悦夫

(社)日本鉄鋼連盟資料(資料8-2)4ページ(5)について、対象から漏れていた鉄鋼会社、二次エネルギーの単位発熱量のデフォルト値から実績値への置き換え、対象機器の記入漏れや記入ミス等の3つの変更を行っているとのことであるが、このうち、の一部について変更を行うべきではないか、あるいはその分だけ削減量を上乘せすべきと考える。

(理由)

について、これまでに閉鎖されてしまった炉からの排出量を新たに追加したとのご説明をいただいたが、自主行動計画は、自主行動計画策定時(1997年)において存在していた炉を前提に目標を設定して取り組むものであり、そういう意味で、自主行動計画策定時より前に閉鎖されてしまった炉からの排出量を現時点で追加することは不適當(あるいは、その分を削減量に上乘せすべきではないか)。